

特許の成果

1995年の新規登録権利の中から、他社への実施許諾が予測されるものなどを、成果の一端として紹介する。

□特許第 1821694 号「ボタン電話装置における運用データ設定方式」

発明者：森 秀康，他 2 名

運用データ設定モード時に、複数の運用項目についてのすべての端末の登録状況を特定の端末に表示させようようにして、設定を行ないやすくした。

□特許第 1884854 号「位置検出方法」

発明者：田畑 光雄，他 1 名

振動型位置検出方法において、同期検波した出力の所定の周波数成分の信号の対応関係を保持したまま関数変換することにより、検出時間を増加させずに自動利得調整可能な位置検出を行なう。

□特許第 1891917 号「超音波血流イメージング装置」

発明者：瀬尾 育武

超音波走査順を変更制御することにより、超音波繰り返し周波数を変えずにサンプリング周波数を低下させ、低流速血流の観測を可能とする。

□特許第 1908195 号「可変速水車発電システムの制御装置」

発明者：阿部 充幸，他 1 名

出力要求と静落差に応じて水車の速度基準とガイドベーン開度基準を求め、速度基準に基づいて励磁制御を行なうとともに、実出力と出力要求との偏差と開度基準に基づいて開度制御を行なう。短時間で最適な回転数、水車出力の応答を可能とする。(東京電力(株)との共有特許)

□特許第 1917699 号「シャドウマスクの製造方法」

発明者：大竹 康久，他 2 名

鉄およびニッケルを主成分とするカラー受像管用シャドウマスクを成形する際、100℃以上にして温間プレスすることにより、曲面成形性を向上させ、変形を防止した。

□特許第 1921648 号「遠隔駆動形個体撮像装置」

発明者：佐々木 智行，他 2 名

CCD素子を駆動する基準信号を、CCD素子の出力信号とともに制御部に送り返し、これにより出力信号を処理し、基準信号の補正等を不要とした。

(東芝オーディオビデオエンジニアリング(株)との共有特許)

□特許第 1925625 号「発光素子及びその製造方法」

発明者：関和 哲男

DH構造のLEDで、第1および第2クラッド層間の活性層の厚みを1~2 μm 、亜鉛濃度を $1 \times 10^{17} \sim 1 \times 10^{18} \text{cm}^{-3}$ とし、かつ活性層との接合部近傍の第2クラッド層の濃度をこの亜鉛濃度より低くすることにより、高輝度化を実現した。

□特許第 1934213 号「文書編集装置」

発明者：木村 和広，他 3 名

表示画面に複数のエリアを定義し、おのおののエリアに論理的な順序付けを設定することにより、1つのエリアからあふれた文章を自動的に次のエリアに移動させて、文章処理効率の向上を図った。

□特許第 1942479 号「携帯可能媒体」

発明者：大波多 元

ICカードに対する処理命令を、初期化時の命令と、初期化以後の命令とに分け、ICカードの初期化後は初期化時の命令を使用できないようにした。

□特許第 1959538 号「冷蔵庫の脱臭装置」

発明者：新谷 浩介

冷蔵庫内の冷氣循環路中に吸着剤層と熱分解触媒層を有する脱臭体を設け、この脱臭体を除霜ヒータで間欠的に加熱して悪臭成分を吸着剤層から放出させ、同時に触媒で熱分解して、吸着剤層の吸着機能を再生させる。

□特許第 1964110 号「表示制御システム及び方法」

発明者：上原 啓市，他 1 名

リジュームモードでコンピュータを終了させたときに外部CRTにデータを表示させるモードになっていても、次回コンピュータを立ち上げた際にCRTが接続されていなければ、内蔵LCDにデータを表示させる。

□特許第 1975034 号「液晶ディスプレイの修正方法」

発明者：矢作 進，他 2 名

液晶ディスプレイの画素電極と共通電極との間に入りこんだ導電性異物による短絡部の修正方法で、画素電極が異物と接触する部分を囲む閉曲線に沿ってレーザ光を照射し、この閉曲線内の部分と閉曲線外の部分とを電氣的に絶縁する。

□実用新案登録第 2063246 号「回路しゃ断器」

考案者：荒木 芳武

山形端子台のリード線端子取付部に、隣り合うリード線端子部間を絶縁する絶縁板を設け、外部リード線を一方向から引き込みながら端子台の厚み寸法内に位置させたことにより、回路しゃ断器の取付け時の幅寸法を小さくした。